

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月23日(金)
------------------	-----	---------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野
-------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	15人			18人
前回の改善計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様に関して不明な事柄があればその都度ケアマネジャーに確認し、また関りを持った職員が全職員と情報共有できる環境を整える。共有した情報を活かして利用者様が安心してサービスを受けられるように声掛けや支援を行う。また、送迎や訪問を利用してゆっくりとご家族、介護者の話を傾聴できるような環境作りに努めていく必要がある。</li> </ul>				
前回の改善計画に対する取組み結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様の要望や意見があればその都度、ケアマネジャーへ確認して対応出来た。</li> <li>申し送りノートや朝礼を利用して情報共有も行うことができ、安心してサービスが受けられるように努めた。</li> <li>コロナ禍ということもあり、ご家族と話す機会が減ってしまい、ゆっくりと話を傾聴することが出来なかった。</li> </ul>				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8人	10人			18人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4人	12人	2人		18人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8人	10人			18人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3人	14人	1人		18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用開始前は、ケアマネジャーと共にご自宅を訪問し、ご本人ご家族より現在困っていることや、支援してほしい内容について情報を収集し、ミーティングや申し送りを通してスタッフ全員と情報の共有を行っている。特に服薬管理については多くの利用者様の課題である為、サービス利用前よりご利用者様ご家族様へ助言を行い、スムーズに利用を開始できるよう留意している。</li> <li>ご利用者様が慣れない時期は特に、送迎や訪問の際にご利用者様の状態の変化や細やか気付きをご家族へ伝え、情報交換を行い、ラポールの確立に努めている。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用予定者の見学から利用開始までの時間が短く、また病院からの緊急依頼などによる急な利用開始となるケースも多い為、十分な情報収集ができないままサービスが開始される事も多々みられる。その場合の介護者の不安やニーズの把握をできていない事もある。</li> <li>意思疎通が難しい利用者様への声掛けや対応が難しいと感じることがあった。</li> <li>家族や介護者と会う機会も少なく、ご利用者様の要望や不安を受け止めることで精一杯な部分もあり、家族間との関係づくりまではあまり出来なかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス開始時にご利用者様の不安を軽減できるように、職員間で支援内容や困っていることを情報共有して、寄り添ったケアが出来るように努める。</li> <li>家族や介護者との信頼関係を築く為に、連絡帳や送迎時に要望や困っている事などを聞き、可能な範囲で援助が出来るよう職員間で話し合い、情報共有を行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

2. 「～したい」の実現  
（自己実現の尊重）

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組めましたか？	3人	11人	4人		18人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングにおいて、目標の確認、達成について話し合いを行い、目標についての認識を高めていく。また、職員一人ひとりが利用者様と関わって知れた情報をミーティングにおいて、情報を共有して、利用者様が必要としているケアの実現ができるように努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が知り得た情報は、ミーティング等で話し合い、要望や目標に応えられるように努められた。</li> <li>・職員へ要望や意見を伝えられる利用者様の要望や目標はミーティングで振り返り、対応を行って行くことが出来たが、意思疎通が難しい、ご利用者様の要望や目標にも寄り添ったケアがもう少ししていく必要があると感じた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3人	9人	5人	1人	18人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2人	13人	3人		18人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2人	9人	7人		18人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2人	9人	6人	1人	18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様との会話、コミュニケーションの時間をなるべく多く確保し、その方の要望を聞き出せるよう関わりをもつ時間を持つようにしている。</li> <li>・その方が生きてきた生活の形を尊重し、その方が自己決定することを尊重し、その方が持つ能力を活用することで自立を支援していくようにしている。</li> <li>・生活の継続性を支援できるようご本人の意思を尊重しながらケアに努めている。</li> <li>・個別的にご本人の希望があれば実現できるようスタッフ全員で情報を共有し自己実現に向けての関わりを行えている。</li> </ul>
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまではご利用者様の行きたい場所、してみたいこと等アンケートをとり実行してきたが、コロナ禍という事もあり、外出が制限されたり、また事業所の中でもソーシャルディスタンスを守りながらの介護と、ご不満の声も聞かれる。</li> <li>・ご利用者様の誕生日月には食べたい物をメニューに反映し、提供できるようにしていきたい。</li> <li>・本人の目標を把握出来ていない利用者様もいる。</li> <li>・全利用者様のファイルの確認が出来ておらず、目標や要望を把握出来ていない。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様とゆっくりと話ができる、環境づくりを目指し、今何を必要としているのかを聞き出せるように努める。</li> <li>・ご利用者様の目標達成が行えるように職員間で知り得た情報は共有して、ミーティング等で話し合い、目標を達成出来るようにする。</li> <li>・個人のファイルに目を通して、その方の目標を理解する習慣を作る。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

3. 日常生活の支援

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組めましたか？	4人	12人	2人		18人

前回の改善計画	<p>・利用者様の、抱えている思いや、言葉にできない気持ちを少しでも把握してケアに活かしていけるように日々のコミュニケーションを大切にして、業務の中で時間がある際は時間を共有し利用者様の声を支援に活かしていけるように努める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・ご利用者様からの要望や意見等は、その都度情報共有して、対応が行えた。 業務に追われる日は、ご利用者様の話を聞くことが出来ない事があり、業務の効率化を考える必要があると感じた。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1人	7人	10人		18人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8人	8人	2人		18人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4人	11人	3人		18人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8人	9人	1人		18人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	7人	11人			18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・体調の変化については、早期発見に努め多職種連携を図り、速やかな受診、往診に繋げている。 ・スタッフ間では申し送りノートを活用し、細かな状態の変化や内服薬、処置方法の変更について情報を共有出来ている。 ADLの変化に伴い、自立支援を目的とした上での、状態に合わせた個別的なケアを実施出来ている。 ・ご本人がお一人で悩みや不安を抱えながら生活されないよう、表情や日頃の変化を観察し、傾聴し、その内容はミーティングで共有して解決に努めている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・ご本人のご自宅での生活環境を十分には把握出来ていない。以前の暮らし方10個以上を挙げられない。 ・特に訪問サービスを利用されていない、且つご家族と共に生活をされている方については、ご自宅の様子を伺う機会も少なく、ご家族のプライベートへの配慮も考慮し、ご家族にお任せしている部分がある。 ・生活環境については、把握出来ていない部分があると感じる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・ご利用者様との関わる時間を大切にして、コミュニケーションの中で「以前の暮らし」が把握できるようにしていく。 ・ご利用者様の体調の変化を見逃さないように日頃の様子を観察して、少しでも異変があったら、多職種連携を行い、対応していく。 ・ご本人から気持ちを聞くことが困難な方は、送迎や訪問時を利用してご家族様から情報を頂けるように努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	8人	4人	18人

前回の改善計画

・コロナ禍ということもあり、行事や野外活動を積極的に行うことができないため、近場の散歩・ドライブなど、現状可能な範囲内での活動を通して地域の方々と少しでも関わりを持てるようにしていく。また、利用者様の以前の生活スタイルを理解して、今必要としている支援を提供するために、ご家族様や民生委員の方々とのお話や意見を大切にしていよいよ良いケアを提供できるように努めていきたい。□

前回の改善計画に対する取組み結果

・コロナ禍で外出が難しくなり、施設内での活動が増えたが、中でも地域の方が育てて下さったコスモス見学へ出かけたり、鹿児島実業吹奏楽コンクールへの参加を行い、利用者様が窮屈な環境で過ごすことのないように施設運営に努めた。  
 ・ご家族様や民生委員の方ともコロナ禍で会話する機会が減ったため、外部へ出かけた際に得た情報を大切に情報共有を図り、より良い施設運営に活かす必要がある。□

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2人	9人	6人	1人	18人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか？	3人	8人	4人	3人	18人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	11人	3人	3人	18人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2人	5人	6人	5人	18人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域で行われた演奏会において、感染症対策を十分に行い、また、ご家族にも協力して頂き多くのご利用者様が参加する事が出来た。ご本人のQOLを維持、高める為にも社会的要素を理解し、身の回りの関係作りが途切れないよう地域の方にご協力して頂いた。  
 ・顔馴染みのご利用者様も多く、利用日や席配置に考慮し、人間関係の構築に努めた。  
 ・ご利用者様との会話や連絡帳を活用してご家族様との関わりが構築出来るようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナ禍において現在も尚近隣への散歩やドライブを実施できていない状況である。  
 ・民生委員の方の存在や、社会資源の内容、使い方等知識不足な面があり、十分には把握できていない。  
 ・特に訪問サービスを利用されていないご利用者様がサービスを受けていない間、どのような過ごし方をされているのか把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・今現在、地域の方たちとの関りが減少しているため、可能な範囲での地域行事の参加や関わることの出来る機会を考えた、地域の方や家族の方との関係を大切に施設運営を図る。  
 ・現在出来ているドライブや行事を継続してご利用者様が過ごしやすい環境づくりに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	7人	1人	18人

前回の改善計画
・日々の業務の中で利用者様の状態の変化にいち早く気づき、その時に必要なケアが行えるように多職種間で連携を深める。また、社会資源について知識を得るための勉強する場がないため、地域に特化した資源について習得できるよう、研修の場を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ご利用者様に異変や体調の変化があった際は、多職種連携でいち早く対応することが出来た。 ・社会資源については、理解していない職員もいるため、ミーティング等で研修や説明することが必要である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1人	7人	7人	3人	18人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5人	11人	2人		18人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5人	11人	2人		18人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6人	10人	2人		18人

できている点
・ご利用者様が、今何に困り何を必要とされているのかを判断し、必要なサービスの提供を実施できている。 ・ご本人の小さな変化を見逃さないよう、観察を行い申し送りやミーティングで共有出来ている。 ・ご家族の要望や負担の軽減に努め、訪問や宿泊サービスを臨機応変に提供し支援できている。 ・災害時には、特に独居の方の安全を守る為に宿泊サービスを利用して頂き多様に機能を果たす事ができた。

できていない点
・地域の社会資源の内容を把握できておらず、十分に活用できていない。 ・サービスを利用されていない間、ご自宅でお一人の方も多いが、その間の社会資源の活用ができていない。 ・独居の方の為に給食サービスがあるが、事業所での配食サービスを利用して頂く場合が多い。地域との関わりを考慮し社会資源を柔軟に活用する必要がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の社会資源の内容と活用方法を職員が理解するように努める。 ・これからもご利用者様の変化に気づけるよう毎日の様子を観察して、毎日の申し送りを大切にしていく。 ・災害時には宿泊や訪問が行えるよう、災害対策グッズや非常食の管理を行い、ハザードマップで避難場所や経路を職員で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

6. 連携・協働

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	4人	2人	18人

前回の改善計画	<p>・コロナ禍の影響で地域の方々とのイベントへの参加は難しい状況だが、利用者様が日々の生活に退屈しない様に施設内でのイベント等を試行錯誤していきたい。また、自治体との会議や研修もリモートやコロナの状況に応じて積極的に参加するように努めていきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・利用者様が毎月の季節感を感じて頂けるように、その月毎の展示物を作成した。 ・コロナ禍で外出が制限されていた中でも、地域の吹奏楽部演奏会やコスモス見学には参加することが出来た。 ・リモートにての外部研修への参加が少なく、積極的に参加するように努めたい。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		7人	3人	8人	18人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		6人	2人	10人	18人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		8人	3人	7人	18人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5人	3人	10人	18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・その他のサービス機関とは担当者会議の場や、記録を通して情報交換、情報の共有を行っている。 ・自治体との会議には限られた職員が参加できた。 ・事業所内でのイベントは季節に応じて実施できた。 ・法人での研修には参加することが出来た。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・コロナ禍での制限があり、地域住民の方が事業所を訪れる機会がなかった。また、各種機関、団体の活動やイベントにもコロナ禍を理由に自粛させて頂いた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・今後もコロナ禍で外出が自粛されると考えられるが、その中でも感染状況を考慮した上で地域の行事には積極的に参加していきたい。 ・外部研修への参加やリモートで行っている外部の研修にも職員が参加できるようにしていきたい。 ・感染予防対策を徹底した上で、施設内でも行事を考えて行い、利用者様が窮屈な生活環境にならないように楽しい施設運営に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

7. 運営

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	14人	1人		18人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方やご家族の意見を伺った際は、職員間で情報を共有して対応する。また、コンプライアンスリスクについてスタッフ間で話し合いの機会を持ち、クレーム、苦情に至らないようにスタッフ一丸となり施設運営に努めていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族から送迎時に聞いた意見や要望は直ぐに職員間で共有して、出勤されていない職員にも伝わるように申し送りノートに記入して情報共有を行った。</li> <li>・ミーティング等で職員間で意見交換を行い、苦情に繋がらないように情報伝達を行えた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	3人	12人	1人	2人	18人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	15人	1人		18人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		12人	4人	2人	18人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	9人	5人	3人	18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方やご家族の方の意見を聞く機会は減っているが、日常的な支援の中で頂いた意見はスタッフ間で共有し事業所の運営に役立っている。</li> <li>・事業所のあり方について、各個人ミーティングや日々の業務の中で意見を言える環境にある。</li> <li>・ご利用者様ご家族から頂いた意見や苦情はスタッフ間で共有し、解決策を見出し速やかに丁寧に対応している。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での行動制限を理由に地域に積極的な働きかけが出来ていない。</li> <li>・管理者、ケアマネジャー、職員の内容のとらえ方に個人差があり、早い段階での共有がされない場合がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い施設がなされるように、早い段階での業務内容の共有を行い、疑問点があればその都度改善点を話し合う。</li> <li>・地域の方や家族からの要望や意見を聞き逃す事のないように、常に全職員で情報共有をして、苦情に繋がらないように丁寧に対応する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月23日（金）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	5人	11人	2人		18人

前回の改善計画
・利用者様へ事故が起きないように職員全体でリスクマネジメントに取り組み、事故が起きそうな時間や場所について常に話し合っ利用者様が安心してご利用できる施設運営に努めていきたい。コロナ禍の影響で外部への研修や会議への出席は難しい状況ではあるが、事業所内で可能な研修を行い職員のスキルアップに励みたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ヒヤリハット、事故報告書が提出された場合は、事故防止委員会を中心に再発防止策を話し合うことが出来た。 ・コロナ禍で外部研修への参加が限られてしまったが、ZOOMにての研修には参加出来た。 ・毎月の法人内研修への参加を行い、職員のスキルアップに努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4人	8人	5人	1人	18人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	5人	6人	4人	18人
③ 地域連絡会に参加していますか		3人	5人	10人	18人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	12人	2人		18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・法人内での研修は充実しており、研修に参加できない職員は必ず研修資料を確認し、スキルアップに努めている。 ・介護福祉士の資格取得に向けて、積極的に研修に参加出来た。 ・事故報告やインシデントが起こった場合は、事故分析を行い、事故防止対策に努めている。 ・ご利用者様に、良質な介護を提供できるよう、日頃より、環境整備や、インシデントレポートの重要性を認識し、リスクアセスメントに取り組んでいる。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域連絡会には特定の職員しか参加出来ていない。 ・コロナ禍の為、外部研修に参加する事が難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・全職員が同じ意識で業務に取り組み、ご利用者様が安心して事故がないように、リスクマネジメントに努める。 ・事故やヒヤリハットが発生した場合はその都度、再発防止について話し合い、ミーティング等でも予防策を再度検討する。 ・参加が可能な範囲（ZOOMなどを活用）で外部研修への参加して、職員のスキルアップに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022/12/23 (金)

9. 人権・プライバシー

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	10人			18人

前回の改善計画
・今後も、委員会や研修を通して、身体拘束や高齢者虐待への意識や知識向上に努めて利用者様が安心して利用できる施設運営に努めていきたい。また、スピーチロックにも意識し、声をかけ合いながら職員全員でより良いケアに繋げていきたい。また、利用者様に寄り添ってケアが行えるように業務の改善点等があった場合は直ぐに話し合い、業務優先にならないように心掛けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・研修や毎月の委員会の報告を通して、身体拘束や高齢者虐待防止の知識向上に努めることが出来た。 ・毎日の業務での改善点があった場合は、その日のリーダーを中心に話し合っ、多職種連携での対応が行えた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	17人	1人			18人
② 虐待は行われていない	16人	2人			18人
③ プライバシーが守られている	11人	7人			18人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	11人	5人	2人		18人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	11人	7人			18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束や虐待への理解は全職員が理解しており、言葉で、利用者様の言動や行動を制止しないよう、スタッフで声をかけ合い、安心安全にサービスを利用出来るよう努めている。 ・入浴や排泄ケアの際は、自尊心や羞恥心を傷つけないようプライバシーの保護に努める事が出来ている。 ・研修に参加し、人権、プライバシーへの理解を深め、ノーマライゼーションの考えに添ったケアを行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見人制度を利用されているご利用者様もおり、言葉や大まかな意味は知っているが、知識としては浅い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・今後も研修や毎月の委員会の報告を活用して、職員の身体拘束や高齢者虐待への知識向上に励み、より良い施設運営に繋げていく。 ・成年後見制度について、理解が浅い職員にはミーティング等で勉強会を行う。